

令和4年度予算案の主な事業

本予算案に盛り込んでいる主な事業をご紹介します。

新型コロナに伴う事業者への支援

【産業活性化課】コロナと戦う事業者の支援策として、「また来てねクーポン券発行事業」「コロナに負けない新規出店応援事業」「資金繰り支援事業」を実施します。

災害時に活用する情報機器を整備

【警防課】災害の状況をより正確に把握するため、ドローンやスマートフォンなどで撮影した映像や、位置情報をデジタルマップ上で共有するシステムを整備します。

デジタル化を推進

【デジタル戦略課】市・県民税の課税証明など一部のオンライン申請手続きのキャッシュレス決済に対応します。

【収納課】市税等の納付手段に電子マネーを追加します。

若年がん患者の在宅療養を支援

【医療健診課】回復の見込みがない状態となった40歳未満のがん患者が在宅で生活するための訪問介護サービスや、福祉用具の貸与・購入費などの一部を助成します。

IT活用による学習支援

【指導室】小・中学生1人1台の端末にオンライン学習システムを導入し、動画教材とデジタルドリルによる学び直し・先取り学習を実現します。

民間保育所等の新設などを整備

【ほいく課】子育ての不安を解消し、子育てしやすい環境を充実させるため、保育所等2施設の整備を支援します。

新型コロナに伴う生活困窮者への支援

【生活援護課】コロナ禍の支援として、県社協が実施する総合支援資金の貸付を借り終わった生活に困窮する世帯の就労による自立を図るため、支援金を支給します。

大和市公共のトイレ協力店

【施設課】外出時に安心して自由に使えるトイレを増やし、高齢の人などの外出支援につなげるため、市内のコンビニの協力を得て「大和市公共のトイレ協力店」を設置します。

県内初 不登校特例校分教室を整備

【指導室】不登校が継続している中学生が学校を転籍して学びを継続できるよう、今年4月に分教室を開室し、施設改修工事を継続して実施します。

中央林間駅周辺のまちづくり事業を推進

【街づくり総務課】小田急中央林間駅東側改札口から東急中央林間駅への連絡通路などを整備します。また、同駅の改善工事に補助金を交付します。

子どもの読書活動を更に推進

【図書・学び交流課】絵本のまちの具現化に向けて、「セカンドブック事業」「まちなか絵本スポット事業」などを実施します。

いじめに対する支援を充実

【指導室】子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、匿名報告・相談アプリ「STOP it」^{ストップイット}を、中学生に加え、小学5・6年生も利用できるようにします。

自転車利用環境を整備

【道路安全対策課】自転車利用者および歩行者の安全を確保するため、自転車通行空間の整備や自転車マナーアップ対策などを実施します。

証明書発行などの利便性を向上

【市民課】証明書などの発行に伴う窓口でのキャッシュレス決済や住民票の写しなどのオンライン申請を導入し、利便性の向上につなげます。

緑野青空子ども広場を公園に整備

【みどり公園課】ツリーガーデン跡地を、ポラリスに隣接する星の子ひろばと一体的に利用できる土や木に触れられる公園として整備します。

やまと公園の大規模改修を実施

【みどり公園課】大和駅近くにあるやまと公園を大幅改修。来年2月の完成を目指し、広々とした芝生広場や魅力ある遊具などを整備します。

※予算の主な内容は、やまとニュース109号(4月18日発行予定)でお知らせします。